

## 杏林大学医学部眼科学教室 2016 年度業績

### 講演

1. 山本亜希子:-AMD 治療-抗 VEGF 療法に終わりはあるのか?. 第 8 回 I seminar × forum、東京、2016 年 4 月 2 日.
2. 中山真紀子, 慶野博, 渡辺交世, 福岡利仁, 駒形嘉紀, 有村義宏, 岡田アナベルあやめ:ベーチェットぶどう膜網膜炎におけるインフリキシマブ中止後の眼炎症活動性の評価. 第 120 回日本眼科学会総会, 仙台, 2016 年 4 月 7 日-4 月 10 日.
3. 山本亜希子、岡田アナベルあやめ、中山真紀子、吉田ゆみ子、小林宏明:治療歴のない滲出型 AMD に対するアフリベルセプト Treat and Extend 療法 2 年経過.第 120 回日本眼科学会総会、仙台、2016 年 4 月 7 日.
4. 澤口翔太、古泉英貴、山本亜希子、小笠原雅、荒川久弥、丸子一朗、岡田アナベルあやめ、石龍鉄樹、飯田知弘:アフリベルセプト療法中に著明な脈絡膜菲薄化を生じた滲出型加齢黄斑変性の頻度と特徴. 第 120 回日本眼科学会総会、仙台、2016 年 4 月 7 日.
5. 山田昌和:コンタクトレンズと涙液成分. 第 120 回日本眼科学会総会、仙台、2016 年 4 月 7 日.
6. 山田昌和:因子分析を用いたドライアイのパターン解析. 第 120 回日本眼科学会総会、仙台、2016 年 4 月 8 日.
7. 井上 真:粘弾性物質の進歩- 分野別使用法のキーポイント -日本眼科学会総会共催セミナー、仙台、2016 年 4 月 8 日.
8. 井上 真:インスツルメント・カニューラ.日本眼科学会総会スペシャルサンデー、仙台、2016 年 4 月 10 日.
9. 井上 真:「増殖糖尿病網膜症への小切開硝子体手術」. 第 31 回糖尿病眼合併症を考える会、東京、2016 年 4 月 14 日.
10. Inoue M : Micro-incision Vitrectomy for Myopic Traction MaculopathyInternational Retina Forum/ Annual Meeting of Chinese Ocular Fundus Diseases Society, Xiamen, China, April 15th-16th,2016.
11. 山本亜希子:AMD 治療のトレンドを知ろう.中越 AMD Clinical Meeting、長岡、2016 年 4 月 16 日.
12. 富田茜、柳沼重晴、今野公士、清水英樹、軽部美穂、福岡利仁、平形明人:杏林アイセンターにおける IgG4 関連疾患治療について. 多摩眼科集談会、三鷹、2016 年 4 月 16 日.
13. Nakayama M, Keino K, Watanabe T, Okada AA: Clinical features and visual

outcomes of patients with acute new-onset Vogt-Koyanagi-Harada disease at a tertiary center in Tokyo. International Uveitis Society Group (IUSG), Ireland, April 18th-21th, 2016.

14. Keino H, Okada AA, Watanabe T, Nakayama M: Maintained remission of uveoretinitis associated with Behcet's disease after discontinuation of successful infliximab therapy. International Uveitis Society Group (IUSG), Ireland, April 18th-21th, 2016.
15. Keino H, Nakayama N, Watanabe T, Koto T, Okada AA: Compromised optic nerve head blood flow in acute retinal necrosis. ARVO Imaging Conference, USA. April 30th, 2016.
16. Sakono T, Meguro A, Ohno S, Sakamoto T, Tsuneoka H, Okada AA, Fukuhara T, Ohguro N, Okinami S, Mizuki N : Replication of previous genome-wide association study findings for Vogt-Koyanagi-Harada disease in a Japanese population. ARVO, Seattle, May 1th-5th, 2016.
17. Inoue M, Kunita D, Itoh Y, Hirakata A: Effect of optical diameter of intraocular lenses with intrascleral fixation in higher-order aberrations. ARVO (2016/5/2) Seattle, USA, May 2th, 2016.
18. Tokizawa R, Inoue M, Itoh Y, Kita Y, Koto T, Hirakata A : Correlation of postoperative vision and fundus autofluorescence after vitrectomy for epiretinal membrane. Association for Research In Vision and Ophthalmology Annual Meeting, Seattle, May 2016,
19. 山田昌和：自覚症状から選ぶドライアイ治療。第5回日本視野学会、神戸、2016年5月14日。
20. 高橋洋如：硝子体手術後に悪化した糖尿病黄斑浮腫の一例。8<sup>th</sup> Eye Center Summit. 東京、2016年5月14日。
21. 重安千花：新しい抗がん剤に伴う角膜障害。アイセンターサミット、東京、2016年5月14日。
22. 山田昌和：自覚症状を重視したドライアイ治療。Ocular Surface Symposium 2016、東京、2016年5月15日。
23. 山田昌和：クリニックにおける日本のドライアイの実態。第10回箱根ドライアイクラブ、小田原、2016年5月20日。
24. 平形明人：糖尿病網膜症の病診連携。第5回 Retina Metabolic 眼科・内科研究会、2016年5月26日。
25. 井上 真：「術後眼内炎への対応」ミニシンポジウム感染症について知っておくべきこと。第49回日本眼科講演会（東京ブロック講習会）、東京、2016年5月28日。

26. 井上 真：「硝子体手術手技 My way」. 2016 Alcon Seminar、札幌、2016年6月4日.
27. Inoue M:Duke course. EVRS, Monaco,Jun 7th-9th,2016.
28. 山田昌和：角結膜疾患の診断と治療. 東京都眼科医会卒後研修会、東京、2016年6月11日.
29. 平形 明人：Management of optic pit maculopathy. Tianjin International Ophthalmology Forum 2016, 天津、2016年6月18日.
30. 鈴木由美、浜由起子、藤原海渡、満川忠広、吉川泉、富田香、山田昌和：部分調節性内斜視手術例の予後に関する術前因子. 第72回日本弱視斜視学会、横浜、2016年6月24日.
31. 富田茜、鈴木由美、内田裕規、山田昌和：斜視手術から20年以上経って生じた化膿性肉芽腫の1例. 第72回日本弱視斜視学会、横浜、2016年6月24日.
32. 今野公士：exDCR解剖に留意した手術手技に変遷. フォーサムシンポジウム、東京、2016年7月2日.
33. 今野公士：半歩先行くオキュラーサーフェス診療 ～流涙症編～分泌性流涙のいろいろ.フォーサムランチョンセミナー、東京、2016年7月2日.
34. 重安千花、中島貴友、慶野博、山根みお、堀江大介、朝戸裕、山田昌和：ハンセン病における眼疾患後遺症の現状. 第50回日本眼炎症学会、東京、2016年7月2日-3日.
35. 中山真紀子、慶野博、渡辺交世、岡田アナベルあやめ 原田病初発例 123例の臨床経過の検討. 第50回日本眼炎症学会、東京、2016年7月2日-3日.
36. 慶野博：教育シンポジウム ぶどう膜炎の画像検査 眼底自発蛍光. 第50回日本眼炎症学会、東京、2016年7月2日-3日.
37. 山田昌和：CL装用による眼表面の生化学的変化. シンポジウム、第59回日本コンタクトレンズ学会、東京、2016年7月3日.
38. Inoue M. Hirakata A:Duration of prone positioning after macular hole surgery determined by swept source optical coherence tomography. Gonin Meeting, Bordeaux, France, Jul 6th-8th, 2016.
39. 山本亜希子：ロービジョンケアのタイミングとその重要性. 第1回東多摩眼科コメディカルセミナー、東京、2016年7月7日.
40. 岡田アナベルあやめ：「眼炎症疾患：最近のトピックス」. 第8回眼科病診連携セミナーin 佐倉. 佐倉、2016年7月14日.
41. 山本亜希子：AMD治療～再発をさせないことで長期管理の効率化へつなげよう～. 第21回兵庫県黄斑疾患研究会、神戸、2016年7月16日.
42. 井上 真：RVO 黄斑浮腫に対する最新治療を考える. 第33回日本眼循環学会アフタヌーンセミナー、福岡、2016年7月22日.

43. 慶野博,中山真紀子,厚東隆,渡辺交世,岡田アナベルあやめ: レーザースペックル法にて視神経乳頭部血流を観察できた急性網膜壊死の1例. 第33回 日本眼循環学会,福岡,2016年7月22日-24日.
44. 平形明人: 糖尿病網膜症の病診連携. 多摩眼科 3M ネットワーク, 東京, 2016年7月27日
45. 北 善幸: 緑内障手術療法について 第5回多摩眼科学術セミナー、東京、2016年7月27日.
46. 北 善幸: 緑内障診療における OCT の使い方. 第2回 H&C の会、武蔵野、2016年7月.
47. 井上 真: 黄斑手術における術中 OCT と術後所見の比較. Japan Macula Club、愛知、2016年8月27-28日.
48. 今野公士: MR さんの知らない近視の世界. 興和創薬社内学術講演. 武蔵野市、2017年8月5日.
49. Hirakata A (Panelist):Surgical Case Conference. American Society of Retina Specialists Annual Meeting, San Francisco, USA, Aug 10th-14th, 2016.
50. Sano M, Hirakata A, Inoue M:Unsuccessful risk factors following vitrectomy for optic pit maculopathy. ASRS meeting, San Francisco, USA, Aug 10th-14th, 2016.
51. Inoue M, Itoh Y, Koto T, Hirakata A:Correlation of intraoperative optical coherence tomographic (iOCT) images with postoperative foveal microstructure in eyes with idiopathic macular hole. ASRS meeting, San Francisco, USA, Aug 10th-14th, 2016.
52. Inoue M:Transplantation of vitreous cortex into the optic pit in an eye with macular retinoschisis associated with optic disc pit. ASRS 34rd Annual Meeting 2016 Film Festival ASRS meeting, San Francisco, USA, Aug 10th-14th, 2016.
53. Inoue M:Intraoperative optical coherence tomography (iOCT) guided vitrectomy for lamellar macular hole. ASRS 34rd Annual Meeting 2016 Film Festival ASRS meeting, San Francisco, USA, Aug 10th-14th, 2016.
54. Inoue M:case presentation. Instruction course. ASRS meeting, San Francisco, USA, Aug 10th-14th, 2016.
55. Nakayama M, Keino M, Watanabe T, Okada AA : Clinical features and visual outcomes of patients with acute new-onset Vogt-Koyanagi-Harada disease at a tertiary center in Tokyo. 9th International Symposium on Uveitis, Dublin, Aug 18th-21th, 2016.
56. Keino H, Okada AA, Watanabe T, Nakayama M. Maintained remission of uveoretinitis associated with Behcet's disease after discontinuation of successful infliximab therapy. 9th International Symposium on Uveitis, Dublin, Ireland, August

18th-21th, 2016.

57. 平形明人：杏林アイセンターのロービジョン外来を振り返って．第 17 回日本ロービジョン学会総会，新潟市，2016 年 8 月 26 日－28 日．
58. 山田昌和：急増するドライアイとその対策．慶應義塾大学医学部生涯教育研修夏期特別セミナー、東京、2016 年 8 月 27 日．
59. 平形明人：Recommendation of “Case Reports” . Capital Retina Club 1st Meeting, 東京，2016 年 9 月 1 日．
60. Nakayama M, Yamamoto A, Okada AA: CNV in Angioid Streaks. 1st Capital Retina Club,小田急ホテルセンチュリーサザンタワー，新宿，2016 年 9 月 1 日．
61. 山田昌和：コンタクトレンズ、合併症や問題点のトピックス．平成 28 年度コンタクトレンズ管理者講習会、東京、2016 年 9 月 3 日．
62. 北 善幸：緑内障検査 OCT？眼底写真？どっちが有用？ 多摩地区緑内障勉強会 AYR 2016、立川、2016 年 9 月 3 日．
63. 井上 真：黄斑浮腫に対する最新治療アプローチを考える．いわきバイエル Educational Program、福島、2016 年 9 月 6 日．
64. Hirakata A: Retinaws Symposium. 16th Euretina Congress, Copenhagen, Denmark, Sep 8th-11th.2016.
65. Kita Y : Preserved retinal sensitivity in spatial correspondence to an intrachoroidal cavitation area with full thickness retinal defect, 3<sup>rd</sup> international conference on Pathologic Myopia, Tokyo, 2016, 9.
66. 重安千花：コンタクトレンズに伴うドライアイ 眼表面ムチンを中心に．大塚製薬 e 講演会，東京，2016 年 9 月 28 日．
67. 山田昌和：コンタクトレンズとオキュラーサーフェス．練馬区眼科医会学術講演会、東京、2016 年 9 月 29 日．
68. Hiroyuki Takahashi, Makoto Inoue, Takashi Koto, Kazunari Hirota, Yuji Itoh, Akito Hirakata. Inverted internal limiting membrane flap technique for macular hole retinal detachment in highly myopic eyes. 3rd international conference of pathologic myopia. Tokyo, Japan. Sep 30th-Oct 1th,2016.
69. 北 善幸：正常眼圧緑内障の診断。OCT と眼底写真 どちらが有用？ファイザー株式会社 社内勉強会、東京、2016 年 9 月．
70. 井上 真：術中 OCT を使いこなそう。瀬戸内眼科コロシウム 2016、岡山、2016 年 10 月 1 日．
71. 松木奈央子：飛蚊症、網膜剥離、糖尿病と目。目の愛護デーTokyo Eye Festival、東京、2016 年 10 月 9 日．
72. Tokizawa R, Inoue M, Itoh Y, Kita Y, Koto T, Hirakara A : Evaluation of ellipsoid zone and fundus autofluorescence following vitrectomy for epiretinal membrane.

AAO 2016, Chicago, Oct 15th-18th, 2016.

73. Takahashi H, Inoue M, Koto T, Hirota K, Itoh Y, Hirakata A :Inverted internal limiting membrane flap technique for macular hole retinal detachment in highly myopic eyes. American Academy of Ophthalmology Annual meeting. Chicago, USA. Oct 15th-18th, 2016.
74. Hirakata A: Myopic traction maculopathy. (Instruction Course: Diagnosis and Management of Complications due to Pathologic Myopia.) American Academy of Ophthalmology 2016, Chicago, USA. Oct 15th-18th, 2016.
75. 山田昌和:眼科医療の価値を科学する. 第 20 回中越眼科サージェリーの会、長岡、2016 年 10 月 19 日.
76. 井上 真:「PAT Survey 2016 の動向について」. 第 19 回信濃町網膜研究会、東京、2016 年 10 月 21 日.
77. 江本宜暢、佐野公彦、折原唯史、鵜沢 亮、高橋洋如、北 善幸、伊東裕二、廣田和成、厚東隆志、井上 真、平形明人:マイラゲルを使用した網膜復位術後 10 年以上の合併症とその対応。第 59 回 東京多摩地区眼科集談会、三鷹、2016 年 10 月 22 日
78. 安藤良将、重安千花、山田昌和:メタゲノム解析を用いて診断に至ったフザリウム角膜炎の 1 例. 第 59 回東京多摩地区眼科集談会、三鷹、2016 年 10 月 22 日.
79. 平形明人:網膜硝子体手術における「Progress comes from doing the unconventional.」. 慶大眼科オータムセミナー、東京、2016 年 10 月 23 日.
80. 平形明人:網膜分離様所見を呈する病変の手術. 第 7 回沼津ベイエリア眼科フォーラム、沼津、2016 年 10 月 27 日.
81. 井上 真:「小切開硝子体手術の最前線」. 第 18 回福岡教育フォーラム、福岡、2016 年 10 月 29 日.
82. 平塚義宗、川崎良、小野浩一、山田昌和、山下英俊:眼科医のための臨床疫学研究デザイン塾 2、後ろ向きコホート研究をやってみよう. インストラクションコース、第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 3 日.
83. 今野公士、柳沼重晴、齋藤恒浩、近藤義之:涙管チューブラクリファスト ES の使用経験.第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 3 日.
84. 今野公士:今! 知っておきたい 眼科医としてのレーシックライフ. 第 70 回日本臨床眼科学会イブニングセミナー、京都、2016 年 11 月 3 日.
85. 井上 真:イブニングセミナー. レチナナイトメア. 「無念の爪痕」. 第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 4 日.
86. 中山真紀子、慶野博、渡邊交世、岡田アナベルあやめ: AZOOR における眼底自発蛍光の検討. 第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 3 日-16 日.
87. 柳沼重晴、齋藤恒浩、今野公士、重安千花、山田昌和:涙道閉塞手術前後の涙液

- 動態、涙液性状の変化. 第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 3 日.
88. 重安千花：涙液成分からみたジクアス点眼の臨床効果. 第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 4 日.
  89. 重安千花：ドライアイの QOL クリニック受療患者サーベイから. 第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 4 日.
  90. 山田昌和：眼科医療の「価値」を科学する. シンポジウム、第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 5 日.
  91. 井上 真：インストラクションコース 48. 実践 27G 硝子体手術「基本設定と黄斑疾患」. 第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 5 日.
  92. 山本亜希子、古泉英貴、小笠原雅、石龍鉄樹、飯田知弘、岡田アナベルあやめ：滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト Treat & Extend 法の多施設前向き研究. 第 70 回臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 5 日.
  93. 小笠原 雅、山本亜希子、古泉英貴、丸子一朗、岡田アナベルあやめ、飯田知弘、石龍鉄樹：視力良好滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト硝子体注射成績. 第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 3 日-6 日.
  94. 渡辺仁、島崎潤、横井則彦、山田昌和：ドライアイスペシャリストの老舗こだわり講座、CL、オフィスワーカーを中心に. インストラクションコース、第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 6 日.
  95. 井上 真：インストラクションコース 57. 最新！糖尿病網膜症マネジメントのすべて—アップデートと症例検討会—「硝子体手術」. 第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 6 日.
  96. 慶野 博：症例検討「徹底討論、病的近視」. 第 70 回日本臨床眼科学会、京都、2016 年 11 月 3 日-6 日.
  97. 井上 真：「視神経乳頭異常合併疾患への硝子体手術」. 第 1 回 Aichi Retina Meeting、名古屋、2016 年 11 月 12 日.
  98. 鈴木由美：成人期発症の内斜視（症例呈示）. 第 18 回西東京眼科フォーラム、東京、2016 年 11 月 16 日.
  99. 重安千花：角結膜上皮障害の考え方ドライアイと鑑別が必要なもの. 西東京眼科フォーラム、三鷹、2016 年 11 月 16 日.
  100. 井上 真：「光凝固と硝子体手術の適応」. RVO Expert Meeting、京都、2016 年 11 月 17 日.
  101. 北 善幸：スーチャートラベクロトミー後に眼内炎をきたした 1 例. 第 1 回多摩 GTO 研究会、新宿、2016 年 11 月 22 日.
  102. 井上 真：パネルディスカッション NGENUITY 3D ビジュアルシステム記念セミナー、東京、2016 年 11 月 23 日.
  103. 渡辺敏樹、眞島行彦、気賀沢一輝、平形明人：79 歳で発症したレーベル遺伝性視

- 神経症の一症例. 第 54 回日本神経眼科学会、宮崎、2016 年 11 月 25 日.
104. 平形明人: 網膜分離様所見を呈する病変の手術. Retina Forum 2016 in SAPPORO. 札幌市、2016 年 11 月 26 日.
105. Inoue M: Surgical approach to massive submacular hemorrhage. PCV Summit 2016, Beijing, China, Nov 26th-27th, 2016.
106. 今野公士: PTA の知らない世界~その眼の知識ほんとうですか?~. 都立藤森高校 (平成 28 年度 PTA 主催行事講演会)、八王子市、2016 年 11 月 26 日.
107. 山本亜希子: AMD の治療方針. 多摩地区 AMD 連携プログラム、東京、2016 年 11 月 26 日.
108. 山田昌和: 角結膜疾患の薬物治療: 薬剤の選択と使い方. 第 174 回岡山県眼科医会生涯教育講座、岡山、2016 年 11 月 27 日.
109. 北 善幸: 緑内障診断に役立つ OCT の利用法. 東多摩地区学術講演会、武蔵野、2016 年 11 月.
110. 北 善幸: 明日から役立つ OCT の使い方. 第 19 回浜松眼科フォーラム、浜松、2016 年 11 月.
111. 平形明人: 硝子体手術を極める. 第 55 回日本網膜剥離硝子体学会総会、東京、2016 年 12 月 2 日-4 日
112. 高橋洋如、井上真、厚東隆志、廣田和成、伊東裕二、平形明人: 強度近視眼の黄斑円孔網膜剥離への強膜短縮併用硝子体手術、第 55 回日本網膜硝子体学会、東京、2016 年 12 月 2 日-4 日.
113. 佐野公彦、井上真、伊東祐二、北 善幸、廣田和成、厚東隆志、平形明人: 増殖糖尿病網膜症における 25 ゲージ手術と 27 ゲージ手術の比較検討. 第 55 回日本網膜硝子体学会総会、東京、2016 年 12 月 2 日-4 日.
114. 江本宜暢、佐野公彦、折原唯史、鵜沢 亮、高橋洋如、北 善幸、伊東裕二、廣田和成、厚東隆志、井上 真、平形明人: マイラゲルを使用した網膜復位術後長期間経過した症例の合併症とその対応. 第 55 回日本網膜硝子体学会総会、東京、2016 年 12 月 2 日-4 日.
115. 望月司、佐野公彦、折原唯史、北 善幸、伊東祐二、廣田和成、厚東隆志、井上 真、平形明人: 硝子体手術を施行した白内障術後眼内炎の起因菌と手術成績の推移. 第 55 回日本網膜硝子体学会総会、東京、2016 年 12 月 2 日-4 日.
116. 古泉英貴、山本亜希子、小笠原雅、長谷川泰司、丸子一郎、荒川久弥、板垣可奈子、岡田アナベルあやめ、石龍鉄樹、飯田知弘: 滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト療法後の網膜色素上皮萎縮. 第 55 回日本網膜硝子体学会総会、東京、2016 年 12 月 2 日.
117. 山内康行、望月潤一、小林円、袖山丈男、平形明人、宇多重員: 進行した白内障眼における網膜電位図の変化. 第 55 回日本網膜剥離硝子体学会総会、東京、2016



年 12 月 2 日-4 日.

118. Koizumi H, Yamamoto A, Ogasawara M, Itagaki K, Maruko I, Sekiryu T, Okada AA, Iida T. Two-year outcomes of aflibercept therapy for polypoidal choroidal vasculopathy. Idiopathic polypoidal choroidal vasculopathy, at the 10th Asia-Pacific Vitreo-Retina Society Congress, Bangkok, December 8th-10th, 2016.
119. Sano M, Inoue M, Itoh Y, Kita Y, Hirota K, Koto T, Hirakata A: Comparison of 27-gauge and 25-gauge vitrectomy. 10th Congress of the Asia-Pacific Vitreoretinal Society, Bangkok, December 8th-10th, 2016.
120. Kita Y, Inoue M, Sana M, Koto T, Hirakata A : Foveal avascular zone area after macular hole surgery with internal limiting membrane peeling. The 10th Asia Pacific Vitreo-retina Society, Bangkok, December 8th-10th, 2016.
121. 岡田アナベルあやめ：「非感染性ぶどう膜炎」. 東京都眼科医会卒後研修研究会、東京、2016年12月10日.
122. 平形明人：網膜分離様所見を呈する病変の手術. 第17回三重県眼科手術懇話会、津、2016年12月11日.
123. 平形明人：糖尿病網膜症の治療戦略. 2th 多摩 Evening Eye Conference、多摩、2016年12月14日.
124. 平形明人：網膜分離様所見を呈する病変の手術. 第45回名古屋大学眼科集談会プログラム、名古屋、2016年12月17日.
125. 平形明人：網膜疾患. 平成28年度東京都眼科医会卒後研修会、東京、2017年1月7日.
126. 今野公士：流涙症治療 up date. 千寿製薬社内学術講演、三鷹、2017年1月20日.
127. 北 善幸：意外と身近な緑内障 その怖さ知っていますか・・・。杏林大学公開講演会、東京、2017年1月.
128. 北 善幸：緑内障診断と治療. 参天製薬社内研修会、立川、2017年1月.
129. 北 善幸：緑内障診断と治療. 大塚製薬招聘勉強会、三鷹、2017年2月.
130. 五月女典久、齋藤恒浩、北善幸：アトピー性皮膚炎合併の落屑緑内障に対する線維柱帯切除術後に眼内炎が生じた1例。14<sup>th</sup> Tokyo Glaucoma Retina Joint Conference, 東京、2017年2月.
131. 山田昌和：知覚過敏、知覚鈍麻とドライアイ. 中野区医師会眼科分科部学術講演会、東京、2017年2月1日.
132. 重安千花：角膜外来のご紹介 アレルギー性結膜炎と感染性角膜炎の治療を中心に. 第2回 八王子市・日野市眼科女性医師の会, 八王子, 2017年2月1日.
133. 平形明人：糖尿病網膜症のチーム医療. 豊島区糖尿病医療連携ネットワーク研修会、東京、2017年2月3日.
134. 井上 真：特別講演2 「硝子体手術での cutting edge」. 第172回宮崎県眼科医

会講習会、宮崎、2017年2月4日。

135. 中山真紀子、山本亜希子、岡田アナベルあやめ：抗 VEGF 療法にも光線力学療法にも抵抗を示した症例。AMD Update Seminar Part2, ホテルサンルートプラザ新宿、2017年2月4日。
136. 山田昌和：成人眼科検診の有用性、実施可能性に関する研究。厚生労働科学研究、循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究、平成 28 年度研究成果発表会、東京、2017年2月7日。
137. 山田昌和：前眼部形成異常の診断基準。シンポジウム、第 41 回日本角膜学会、福岡、2017年2月16日。
138. 今野公士：角膜！ナイトスクープ。～瞬目について～。角膜カンファレンス 2017 イブニングセミナー、福岡、2017年2月16日。
139. 岡田アナベルあやめ：「生物学製剤：眼科医のための基本知識」第 17 回網膜ラウンジ、東京、2017年2月18日。
140. 安藤良将、重安千花、慶野博、大山学、山田昌和：散瞳薬による重症眼瞼皮膚炎と偽膜性結膜炎を生じた 1 例。角膜カンファレンス 2017, 福岡、2017年2月16日-18日。
141. 柳沼重晴、斎藤恒浩、今野公士、重安千花、山田昌和：涙道閉塞例の涙液成分の変化。角膜カンファレンス 2017、福岡年2月16日-18日。
142. 名畑浩昌、秋山陽一、重安千花、山田昌和：スリット型スペキュラーマイクロスコープを用いた角膜内皮の評価。角膜カンファレンス 2017、福岡、2017年2月16日-18日。
143. 津田麻祐子、重安千花、山田昌和：先天性遺伝性角膜実質ジストロフィと考えられた 1 例。角膜カンファレンス 2017、福岡、2017年2月17日。
144. 井上 真：黄斑下出血に対する術中 OCT ガイド硝子体手術。Vitrectomy Winter Meeting 2017、北海道、2017年2月20日-22日。
145. 山田昌和：なみだの秘密、はじめの一步。第 5 回 D&D 東京、東京、2017年2月23日。
146. 平形明人：杏林アイセンターのロービジョン外来を振り返って。済生会新潟第 2 病院眼科 市民公開講座 2017、新潟市、2017年2月25日。
147. 山田昌和：外部環境に起因するドライアイの診断と治療。長崎県眼科医会学術講演会、長崎、2017年2月25日。
148. 井上 真：「患者紹介を受ける立場から-網膜硝子体手術」第 95 回岡山大学眼科研究会、岡山、2017年2月25日。
149. Inoue M: Surgical Technique: Tips and Tricks; Macular Surgery for Intraoperative OCT. APAO, Singapore, Mar 1th-5th.2017.
150. 中山真紀子、岡田アナベルあやめ：抗 TNF- $\alpha$  製剤の新時代におけるブドウ膜炎治

- 療. 眼疾患を呼ぶ会、東京医療センター、2017年3月2日
151. 重安千花：コンタクトレンズに伴うドライアイ 眼表面ムチンを中心に. 第6回 NAGANO Ocular Surface Symposium、長野、2017年3月4日.
  152. 今野公士：当院における問題症例. ICL Expert User meeting. ソウル、2017年3月5日.
  153. 平形明人：硝子体手術 MIVS への道. 第3回城西武蔵野眼科講演会、東京、2017年3月8日.
  154. 山田昌和：角結膜疾患の診断と治療. 第3回城西武蔵野眼科講演会、東京、2017年3月8日.
  155. 山本亜希子：AMD に対する個別化医療を目指して. 鹿児島アイリーア発売4周年記念講演会、鹿児島、2017年3月10日.
  156. 平形明人：乳頭ピット黄斑症候群に対する治療 up date. Osaka Retina Meeting、大阪市、2017年3月11日.
  157. 山田昌和：眼科領域での予防医学の推進と公的眼科検診の必要性. 平成28年度日本眼科医療機器協会総会、東京、2017年3月24日.
  158. 井上 真：術中 OCT を用いた硝子体手術. キンキ Vits の会、兵庫、2017年3月25日.
  159. Okada AA: 「Behcet's Disease: Ocular Manifestations and Advances in Treatment」. 18th International Vasculitis and ANCA Workshop, Tokyo, March 27, 2017.
  160. 平形明人：杏林アイセンターのロービジョン外来を振り返って. 東多摩ロービジョンケアセミナー、武蔵野市、2017年3月30日.
  161. 井上 真：10K ベベルドカッター. 第20回信濃町研究会、東京、2017年3月31日.
  162. 北 善幸：角膜移植術後眼に生じた裂孔原性網膜剥離の1例. 網膜硝子体 竹内塾！ 東京、2017年3月.
  163. 北 善幸：緑内障診療における OCT の有用性とその注意点. 第264回長野県眼科医会集談会、長野、2017年3月.

## 論文

1. Abouammoh MA1, Alsulaiman SM2, Gupta VS3, Mousa A1, Hirakata A, Berrocal MH4, Chenworth M4, Chhablani J5, Oshima Y6, AlZamil WM7, Casella AM8, Papa-Oliva G9, Banker AS10, Arevalo JF11; King Khaled Eye Specialist Hospital International Collaborative Retina Study Group: Pars plana vitrectomy with juxtapapillary laser photocoagulation versus vitrectomy without juxtapapillary laser

photocoagulation for the treatment of optic disc pit maculopathy: the results of the KKESH International Collaborative Retina Study Group. *Br J Ophthalmol* 100:478-483, 2016.

2. Nakanishi A1, Ueno S2, Hayashi T3, Katagiri S3, Kominami T1, Ito Y1, Gekka T3, Masuda Y3, Tsuneoka H3, Shinoda K4, Hirakata A, Inoue M, Fujinami K5, Tsunoda K5, Iwata T6, Terasaki H1: Clinical and genetic findings of autosomal recessive bestrophinopathy in Japanese cohort. *Am J Ophthalmol* 168: 86-94, 2016.
3. Endo H1, Ishii H2, Tsuchiya H2, Takahashi Y2, Inaba Y2, Nishino Y2, Hirakata A, Kubota H2: Observations of retinal vessels during intermittent pressure-augmented retrograde cerebral perfusion in clinical cases. *Interact Cardiovasc Thorac Surg* 23(2):259-65,2016.
4. Ogura Y, Shiraga F, Terasaki H, Ohji M, Ishida S, Sakamoto T, Hirakata A, Ishibashi T: Clinical practice pattern in management of diabetic macular edema in Japan: survey results of Japanese retinal specialists. *Jpn J Ophthalmol* 61:43-50, 2016.
5. 江内田寛、平形明人、大路正人、西田幸二、久保田敏昭、緒方奈保子、園田康平、内山麻希子、岸本淳司、戸高浩司、中西洋一、石橋達朗：A0001（プリリアントブルーG250）の内境界膜染色と剝離に対する有効性と安全性の検討—多施設共同第 III 相医師主導治験。日本眼科学会雑誌 120: 439-448,2016.
6. Yamauchi Y, Mochizuki JI, Hirakata A, Uda S: Single flash electroretinograms of mature cataractous and fellow eyes. *Clin Ophthalmol* 10:2031-2034, 2016.
7. Higashi K, Meguro A, Takeuchi M, Yamane T, Kitaichi N, Horie Y, Namba K, Ohno S, Nakao K, Sakamoto T, Sakai T, Tsuneoka H, Keino H, Okada AA, Takeda A, Fukuhara T, Mashimo H, Ohguro N, Ohno S, Enaida H, Okinami S, Mizuki N: Investigation of association between IL10 gene polymorphisms and Vogt-Koyanagi-Harada disease in a Japanese population. *Ophthalmic Genet* 4:1-3, 2016.
8. Koizumi H, Yamamoto A, Maruko I, Okada AA, Iida T, Kano M, Saito M, Sekiryu T, Kawasaki R: Author Reply regarding “Short-term changes in choroidal thickness after aflibercept therapy for neovascular age-related macular degeneration. *Am J Ophthalmol* 168:287-288, 2016.
9. Cunningham ET, Tugal-Tutkun I, Khairallah M, Okada AA, Bodaghi B, Zierhut M: Behcet uveitis [Editorial]. *Ocular Immunol Inflamm* 25:2-6, 2017.
10. 岡田アナベルあやめ、蕪城俊克：生物学的製剤の時代における非感染性ぶどう膜炎の治療戦略。あたらしい眼科、34:461-462、2017.
11. Yamamoto A1, Okada AA1, Nakayama M1, Yoshida Y1,2, Kobayashi H1,3 (Department of Ophthalmology, Kyorin University Hospital, Kyorin University School

of Medicine<sup>1</sup>, Department of Ophthalmology, Kosei Hospital<sup>2</sup>, and Department of Ophthalmology, Juntendo University Hospital<sup>3</sup>) : One-year outcomes of a treat-and-extend regimen 1 of aflibercept for exudative age-related macular degeneration. *Ophthalmologica*, DOI: 10.1159/000458538

- 1 2. Nakamura T, Keino H, Okada AA. SUB-TENON TRIAMCINOLONE ACETONIDE INJECTION IN A PREGNANT PATIENT WITH VOGT-KOYANAGI-HARADA DISEASE. *Retin Cases Brief Rep.* (in press)
- 1 3. Fukuhara D, Takiura T, Keino H, Okada AA, Yan K. Iatrogenic Cushing's Syndrome Due to Topical Ocular Glucocorticoid Treatment. *Pediatrics.* (in press)
- 1 4. Tano T, Ono K, Hiratsuka Y, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Onishi Y, Takegami M, Yamada M, Fukuhara S, Murakami A. Retinal vessel diameters in a Japanese population: the Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study. *Acta Ophthalmol.* 2016;94(6):e432-41.
- 1 5. Kawashima M, Hiratsuka Y, Nakano T, Tamura H, Ono K, Murakami A, Inoue S, Tsubota K, Yamada M. The association between legal Japanese visual impairment grades and vision related quality of life. *Jpn J Ophthalmol.* 2016;60:219-225.
- 1 6. Nakano T, Kawashima M, Hiratsuka Y, Tamura H, Ono K, Murakami A, Tsubota K, Yamada M. Assessment of quality of life in patients with visual impairments using a new visual function questionnaire: the VFQ-J11. *Clin Ophthalmol.* 2016;10:1939-1944.
- 1 7. Tsubota K, Yokoi N, Shimazaki J, Watanabe H, Dogru M, Yamada M, Kinoshita S, Kim HM, Tchah HW, Hyon JY, Yoon KC, Seo KY, Sun X, Chen W, Liang L, Mingwu L, Liu Z. New Perspectives on Dry Eye Definition and Diagnosis: A Consensus Report by the Asia Dry Eye Society. *Ocul Surf.* 2017;15:65-76.
- 1 8. 高静花、小島隆司、山田昌和、横井則彦、渡辺仁 : CL とドライアイ. *日コレ誌* 58:24-30, 2016.
- 1 9. 山田昌和 : 上輪部角結膜炎. *あたらしい眼科* 33:1461-1462, 2016.
- 2 0. 木下茂、新家真、杉山和久、横井則彦、山田昌和 : 緑内障とドライアイ. *Frontiers in Dry Eye* 11:94-101, 2016.
- 2 1. 山田昌和 : 結膜弛緩症と上輪部角結膜炎の手術治療. *日本の眼科* 87:1615-1616, 2016.
- 2 2. Sano M, Inoue M, Itoh Y, Hirota K, Koto T, Hirakata A: Efficacy of higher cutting rates during micro incision vitrectomy for proliferative diabetic retinopathy. *Eur J Ophthalmol* 2016;26(4):364-8.
- 2 3. Nakanishi A, Ueno S, Hayashi T, Katagiri S, Kominami T, Ito Y, Gekka T, Masuda Y, Tsuneoka H, Shinoda K, Hirakata A, Inoue M, Fujinami K, Tsunoda K, Iwata T,

- Terasaki H: Clinical and Genetic Findings of Autosomal Recessive Bestrophinopathy in Japanese Cohort. *Am J Ophthalmol.* 2016;168:86-94.
- 2 4. Sano M, Inoue M, Itoh Y, Kita Y, Hirota K, Koto T, Hirakata A: Duration of prone positioning after macular hole surgery determined by swept source optical coherence tomography. *Retina.* 2016 Nov 15. [Epub ahead of print]
  - 2 5. 折原唯史、廣田和成、横田怜二、國田大輔、伊東裕二、利井東昇、厚東隆志、平岡智之、井上真、平形明人：強度近視眼の有水晶体眼における裂孔原性網膜剥離の特徴. *日眼会誌* 120 : 382-389, 2016.
  - 2 6. 津田麻祐子、富田茜、佐野公彦、柳沼重晴、井上真、山口竜一、平形明人：網膜血管腫の治療中に脳腫瘍症状を発症した von Hippel-Lindau 病の一例. *眼科* 58(10);1085-1092, 2016.
  - 2 7. Kunita D, Inoue M, Koto T, Hirakata A: Retinal detachment associated with peripapillary staphyloma imaged with swept source optical coherence tomography. *Retin Cases Brief Rep.* 2017 Jan 9. [Epub ahead of print]
  - 2 8. Kita Y, Inoue M, Holló G, Kita R, Sano M, Hirakata A: Preserved retinal sensitivity in spatial correspondence to an intrachoroidal cavitation area with full thickness retinal defect: a case report. *BMC Ophthalmology.* 16: 186. 2016. DOI 10.1186/s12886-016-0362-6
  - 2 9. Kita Y, Soutome N, Horie D, Kita R, Holló G: Circumpapillary ganglion cell complex thickness to diagnosis glaucoma: A pilot study. *Indian Journal of Ophthalmology.* 65 (1): 41-47, 2017
  - 3 0. 北 善幸：海外医学情報 3D ボリュームスキャンを用いた視神経乳頭周囲網膜厚の緑内障診断力。日本の眼科 87 : 1498-1499、2016
  - 3 1. Keino H, Okada AA, Watanabe T, Nakayama M, Nakamura T. Efficacy of Infliximab for Early Remission Induction in Refractory Uveoretinitis Associated with Behçet Disease: A 2-year Follow-up Study. *Ocul Immunol Inflamm.* 25(1):46-51, 2017.
  - 3 2. Keino H, Watanabe T, Taki W, Nakayama M, Nakamura T, Yan K, Okada AA. Clinical features of uveitis in children and adolescents at a tertiary referral centre in Tokyo. *Br J Ophthalmol.* 101(4):406-410, 2017.
  - 3 3. Keino H, Okada AA, Watanabe T, Echizen N, Inoue M, Takayama N, Nagane M. Spectral-domain Optical Coherence Tomography Patterns in Intraocular Lymphoma. *Ocul Immunol Inflamm.* 24(3):268-73, 2016.
  - 3 4. 渡辺交世、慶野博、宮東昭彦 1、佐藤泰彦 2、岡田アナベルあやめ(1 杏林大・医・解剖学, 2 杏林大・医・共同研究施設 RI 部門): 外国誌要覧 実験的自己免疫性ぶどう膜網膜炎における眼局所の microRNA の発現. *日本眼科学会雑誌.* 120:465, 2016.

- 3 5. 慶野博:[眼の免疫学] 前房関連免疫偏位(ACAID)と制御性 T 細胞 眼を介した免疫寛容.医学のあゆみ. 256:1262-1266,2016.
- 3 6. 慶野博:強膜炎.見逃してはいけないぶどう膜炎の診療ガイドライン. Oculista. 37:33-40,2016.
- 3 7. 慶野博:その他の黄斑浮腫に対する薬物療法.網膜硝子体疾患の薬物療法-どこまでできるか.Oculista. 41:17-24,2016.
- 3 8. Ando Y, Hirakata A, Ohara A1, Yokota R, Orihara T, Hirota K, Koto T, Inoue M.: Vitrectomy and scleral imbrication in patients with myopic traction maculopathy and macular hole retinal detachment. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 255(4):673-680, 2017. (Epub 2016 Nov 10.)
- 3 9. 慶野博:蛍光眼底造影. 眼科グラフィックス. メディカ出版 6:139-147,2017.
- 4 0. Shigeyasu C, Yamada M, Akune Y 1, Fukui 1 (1Division for Vision Research, National Institute of Sensory Organs, National Hospital Organization Tokyo Medical Center): Diquafosol for Soft Contact Lens Dryness: Clinical Evaluation and Tear Analysis. Optom Vis Sci. 93:973-8, 2016.
- 4 1. Tsuda M, Takano Y1, Shigeyasu C, Imoto S2, Yamada M. (1Department of Ophthalmology, Kawasaki Municipal Ida Hospital, 2Department of Breast Surgery): Abnormal Corneal Lesions Induced by Trastuzumab Emtansine: An Antibody-Drug Conjugate for Breast Cancer. Cornea. 35:1378-80, 2016.
- 4 2. Shimazaki J1, Shigeyasu C, Saijo-Ban Y1, Dogru M1, Den S1. (1Department of Ophthalmology, Tokyo Dental College, Ichikawa General Hospital): Effectiveness of bandage contact lens application in corneal epithelialization and pain alleviation following corneal transplantation; prospective, randomized clinical trial. BMC Ophthalmol. 16:174, 2016.
- 4 3. Shigeyasu C, Yamada M, Akune Y1 (1Division for Vision Research, National Institute of Sensory Organs, National Hospital Organization Tokyo Medical Center): Influence of Ophthalmic Solutions on Tear Components. Cornea. 35 Suppl 1:S71-S77, 2016.
- 4 4. Kawashima M1, Yamada M, Suwaki K2, Shigeyasu C, Uchino M1, Hiratsuka Y3, Yokoi N4, Tsubota K1; DECS-J Study Group (1Department of Ophthalmology, Keio University School of Medicine, 2Santen Pharmaceutical Co., Ltd, 3Department of Ophthalmology, Juntendo University Graduate School of Medicine, 4Department of Ophthalmology, Kyoto Prefectural University of Medicine): A Clinic-based Survey of Clinical Characteristics and Practice Pattern of Dry Eye in Japan. Adv Ther. 34:732-743, 2017.
- 4 5. 秋山陽一、鈴木由美、吉川泉、浜由紀子、富田香、成田圭吾、尾崎峰、山田昌和 :

巨大眼瞼部乳児血管腫を伴い不同視弱視治療を要した乳児例. 眼科臨床紀要 9 巻  
(7)581-586,2016

46. 鈴木由美、山田昌和：斜視診断の基本（部分）調節性内斜視 あたらしい眼科 33 巻(12)1681-1686, 2016.
47. 渡辺敏樹、気賀沢一輝、宮崎泰、平形明人：視神経萎縮で発見された神経梅毒の一症例. 神経眼科 33 : 385-391, 2016.
48. 今野公士、山田昌和、重安千花、近藤義之 1 (1 近藤眼科)：周術期 2%レバミピド点眼液による白内障術前後の眼表面保護効果. あたらしい眼科 33:589-593, 2016.
49. 重安千花、山田昌和：【眼科検査の最新情報】前眼部 細隙灯顕微鏡とデジタルフオートスリットマイクロスコープ (解説/特集). 眼科 58:1121-1126, 2016.
50. 重安千花：【小児眼科 Q&A】先天性疾患・小児疾患 先天性角膜混濁の診断に必要な検査について教えてください (Q&A 特集). あたらしい眼科 33 臨増: 184-187, 2016.

## 著書

1. 厚東隆志、平形明人：近視性牽引黄斑症 治療／硝子体手術（総論）. 大野京子（編）：専門医のための眼科診療クオリファイ 28 近視の病態とマネジメント、p 225-230、中山書店、東京、2016 年.
2. 平形明人：乳頭ピット黄斑症候群. 井上幸次、山本哲也、大路正人、門之園一明（編）：一目でわかる眼疾患の見分け方 ぶどう膜疾患、網膜・硝子体疾患、p 146-147、メジカルビュー、東京、2016 年.
3. 平形明人：画像検査と網膜剥離. 平形明人、井上真（編）：どう診てどう治す？網膜剥離、p2-17、メジカルビュー、東京、2016 年.
4. 平形明人：強膜バックリング手術. 平形明人、井上真（編）：どう診てどう治す？網膜剥離、p31-44、メジカルビュー、東京、2016 年.
5. 平形明人：Coats 病に合併する滲出性網膜剥離. 平形明人、井上真（編）：どう診てどう治す？網膜剥離、p236-241、メジカルビュー、東京、2016 年.
6. 平形明人：乳頭小窩（ピット）黄斑症候群. 大路正人、後藤浩、山田昌和、野田徹（編）：今日の眼疾患治療指針第 3 版、p553-555、医学書院、東京、2016 年.
7. 平形明人：朝顔症候群. 大路正人、後藤浩、山田昌和、野田徹（編）：今日の眼疾患治療指針第 3 版、p555-556、医学書院、東京、2016 年.
8. 平形明人：超広角眼底撮影 (Optos®). 飯田知弘、中澤徹、堀裕一（編）：眼科診療マイスター I 診察と検査、p198-203、メジカルビュー、東京、2016 年.
9. 廣田和成、平形明人：網膜・硝子体の救急. Monthly Book Oculista 44: 26-34, 2016 年.



10. 平形明人：網膜剥離を合併する視神経乳頭異常. 飯田知弘, 中澤徹, 堀裕一 (編)：眼科診療マイスターⅡ 診断と治療, p226-233、メジカルビュー、東京、2016年.
11. 平形明人、岡田アナベルあやめ、山田昌和、井上真 (編集)：眼科疾患ビジュアルブック. 学研メディカル秀潤社、東京、2017年.
12. 山田昌和：涙液油層の成分とその評価. マイボーム腺機能不全の診断と治療、坪田一男編、p93-99、金原出版、2016年10月.
13. 山田昌和：前眼部写真の撮影法. 眼科検査ガイド第2版、根木昭、飯田知弘、近藤峰生、中村誠、山田昌和編、p379-380、文光堂、2016年10月.
14. 根木昭、飯田知弘、近藤峰生、中村誠、山田昌和編集：眼科検査ガイド第2版、文光堂、2016年10月.
15. 大路正人、後藤浩、山田昌和、野田徹編集：今日の眼疾患治療指針 第3版、医学書院、2016年10月.
16. 井上真、慶野博：裂孔不明の全剥離. どう診てどう治す 網膜剥離. 平形明人、井上真編. p203-207、メジカルビュー、東京、2016年.
17. 井上 真：治療の基礎を知っておこう「硝子体手術とは 注意すべきこととは？」知っているようでDR診察.
18. 井上 真：網膜硝子体のスリットランプ検査. 眼科検査ガイド第2版. 2016年9月.
19. 井上 真：近視性牽引黄斑症に対する黄斑バックル・強膜短縮術. (特集病的近視の治療最前線) OCULISTA (36), p27-30、全日本病院出版会.
20. 井上 真：若年性網膜分離症 眼科疾患の最新治療.
21. 井上 真：糖尿病黄斑浮腫の治療. ナノテク.
22. 井上 真：黄斑下出血へのマネージメント. 眼科 58(8), 853-857, 2016年8月.
23. 井上 真：眼科診療マイスター網膜剥離.
24. 井上 真：スリットを用いた網膜硝子体の観察. OCULISTA (46), 31-36, 2017年1月.
25. 井上 真：ICCを伴った網膜剥離. 眼科臨床エキスパートシリーズ『画像から考える病的近視診療』(眼科診療エキスパート) 医学書院 2017年3月.
26. 慶野博：中間部ぶどう膜炎. 眼科疾患 最新の治療 2016-2018. 大橋裕一、白神史雄、村上晶編 東京、南江堂, p256.
27. 慶野博：ぶどう膜炎 OCT. 眼科診療マイスター 診察と検査. 飯田知弘、中澤徹、堀裕一編 東京、メジカルビュー社, p240-243, 2016.
28. 慶野博：真菌性眼内炎. 今日の眼疾患治療指針. 大路正人、後藤浩、山田昌和、野田徹編 東京、医学書院, 2016.p434-435.
29. 慶野博：全眼球炎. 今日の眼疾患治療指針. 大路正人、後藤浩、山田昌和、野田徹編 東京、医学書院, 2016.p436.
30. 北 善幸：網膜剥離の病型別診療—格子状変性巣内の萎縮性円孔による網膜剥離. 平形明人、井上真 (編)：どう診てどう治す? 網膜剥離. 78-81、メジカルビュー社. 東京、

2016.

31. 北 善幸：網膜剥離の病型別診療—格子状変性巣内の萎縮性円孔による網膜剥離。平形明人、井上真（編）：どう診てどう治す？網膜剥離。78-81、メジカルビュー社。東京、2016.
32. 北 善幸：網膜剥離の病型別診療—多発円孔による網膜剥離（強度近視眼）。平形明人、井上真（編）：どう診てどう治す？網膜剥離。96-100、メジカルビュー社、東京、2016.
33. 北 善幸：網膜剥離の病型別診療—高齢者の格子状変性巣内円孔による網膜剥離。平形明人、井上真（編）：どう診てどう治す？網膜剥離。122-125、メジカルビュー社、東京 2016.
34. 北 善幸：網膜剥離の病型別診療—硝子体出血合併の網膜剥離（LASIK 眼）。平形明人、井上真（編）：どう診てどう治す？網膜剥離。157-159、メジカルビュー社、東京 2016.
35. 北 善幸：網膜剥離の病型別診療—先天性白内障術後無水晶体眼網膜剥離。平形明人、井上真（編）：どう診てどう治す？網膜剥離。199-202、メジカルビュー社、東京、2016.
36. 鈴木由美：小児の眼鏡処方。眼科検査ガイド第2版、文光堂、100-105、2016.
37. 今野公士：眼科検査ガイド第2版： P.359-362. 文光堂 2016
38. 柳沼重晴、今野公士：眼球突出計。眼科検査ガイド第2版、P.344-345、文光堂、2016.

その他

1. 平形明人：眼科検診における画像検査の進歩。各科臨床のトピックス。日本医師会雑誌 雑誌 145：282-284, 2016.
2. 平形明人：目の病気 最新情報，糖尿病網膜症，加齢黄斑変性。NHK きょうの健康，9月号，p42-49, 2016.
3. 平形明人：目の病気 最新情報，糖尿病網膜症，加齢黄斑変性。NHK きょうの健康，2016.8.31-9.1.(テレビ出演)
4. 平形明人：眼底疾患の手術治療。テレビ東京 話題の医学, 2016.10.23. (テレビ出演)
5. 平形明人：強度近視の牽引性黄斑症。Retina Medicine vol.5, 秋号, p67-73, 先端医学社，東京，2016.
6. 平形明人：目の健康を守る（インタビュー）。日本経済新聞 11月10日夕刊, p12, 2016.
7. 平形明人：目の病気 最新情報，糖尿病網膜症，加齢黄斑変性。NHK きょうの健康より抜粋, p.5-8, ノバルティスファーマ株式会社，2016.
8. 平形明人：網膜硝子体手術。週刊朝日 MOOK 手術数でわかるいい病院 2017, p.109, 朝日新聞出版，2016.
9. 岡田アナベルあやめ：非感染性ぶどう膜炎に新たな生物学製剤が承認（巻頭言）。日本眼科学会雑誌、121:3-5、2017.

10. 山田昌和（分担研究者）. 平成 27 年度厚生労働省科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）、希少難治性角膜疾患の疫学調査 (H27-難治等（難）-一般-072)報告書、2016 年 5 月.
11. 山田昌和：40 歳を越えたら眼科検診を. 日刊ゲンダイ 2016 年 9 月 15 日号.
12. 山田昌和：ドライアイ、予防対策の要は三つの「コン」. 朝日新聞 2016 年 10 月 12 日号.
13. 重安千花：涙液成分からみたジクアス点眼の臨床効果. 第 70 回日本臨床眼科学会ドライアイリサーチアワード, 京都, 2016 年 11 月 4 日.